

	新潟大学 社会科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	経済学部（第1年次：265名 第3年次：15名） 【夜間主】（第1年次：40名）
沿 革	大正8（1919）年 新潟高等学校 設置 昭和24（1949）年 新潟大学人文学部 設置 昭和52（1977）年 人文学部を改組し、法文学部を設置 昭和55（1980）年 法文学部を改組し、経済学部を設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、人文学部が設置された。 昭和52（1977）年に、人文学部から法文学部へ改組された。 昭和55（1980）年に、世界水準の先端を行く研究と地域拠点にふさわしい研究を教員が発信することにより、経済学と経営学にまたがる基礎的かつ専門的な知識及び知的枠組みを学生に伝達し、そのことを通して、国内外や地域の幅広い分野で活躍できる専門的職業人を育成することを目的として、法文学部を改組し、経済学部が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>新潟大学における社会科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国における経済学分野の普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経済学・経営学の学問分野の教育研究を通じて、経済学又は経営学に関する研究に基づき、基礎的な専門知識と深い教養を備え、課題探求能力と総合的判断力及び国際性、社会性を有し、広く社会で活躍できる人材を養成する。 ○ このため、経済学と経営学にまたがる基礎的かつ専門的な知識及び知的枠組みを身につけることを目的に、グローバル経済の実態を深く認識する教育プログラム、会計学に関わる実務的な教育プログラムなどを整備するとともに、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成している。 ○ 今後、学生の学習到達度を客観的に評価するシステムの構築など、学

生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等により、学士課程教育の質的転換に取り組む。

【研究】

- 社会を構成する諸個人の協同を可能とする条件を探り、また経済・経営諸事象の相互支持・相互依存関係という方法論を軸に「共生経済学」という新しい理念を構築するため「共生経済学研究センター」を立ち上げており、国内外とりわけ東アジアを中心とした諸地域の抱えている問題を把握するとともに、研究成果を公表している。
- 今後、国際発信を強化するため、テニユア・トラック制度を活用して優れた若手研究者を確保するなど、共生経済学に関する研究水準を高め、我が国社会の課題解決・文化の発展に貢献することを目指す。また、地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 新潟県内で唯一の夜間主コースを設置しており、社会人教育を通じて、若年社会人学生のキャリアアップを支援している。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、定員規模の見直しに取り組む。